

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-200667

(P2014-200667A)

(43) 公開日 平成26年10月27日(2014.10.27)

(51) Int.Cl.

A 4 7 J 17/14 (2006.01)

F 1

A 4 7 J 17/14

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 5 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2013-106582 (P2013-106582)
 (22) 出願日 平成25年4月8日 (2013.4.8)

(71) 出願人 508330157
 鈴木 淳史
 東京都渋谷区幡ヶ谷3-78-2エコーハ
 イツ105
 (72) 発明者 鈴木 淳史
 東京都渋谷区幡ヶ谷3丁目78番2号エコー
 ハイツ105

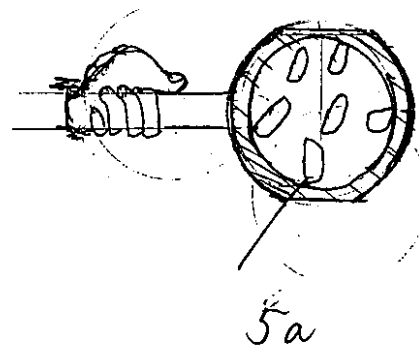
(54) 【発明の名称】 皮むき器

(57) 【要約】

【課題】 従来ニンニクの皮をむくのにゴム又は樹脂状の袋に入れもみしごいて皮をむく方法あった。これだと大量にむけないし指も疲れ効率が悪かった。

【解決手段】 切断部と排出口を設けた内面が皮むき面である、皮むきボウルに取っ手を取り付ける構成にした。この取っ手を振ることによりニンニク片が皮むき面に衝突、跳ね返ることにより皮がむけるため大量に効率よく皮がむける皮むき器を提供できる。

【選択図】 図6



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

振動させ、野菜、果物の表皮をむく皮むき器であって内面が多面体状の皮をむく皮むき面である皮むきボウルを具備することを特徴とする皮むき器

【請求項 2】

前記皮むき面が球面体状である皮むきボウルを具備することを特徴とする請求項 1 記載の皮むき器

【請求項 3】

前記皮むきボウルに野菜、果物を切断する切断部を取り付けることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の皮むき器

【請求項 4】

前記皮むきボウルに被皮むき具材を排出する排出口を具備することを特徴とする請求項 3 記載の皮むき器

【請求項 5】

前記皮むきボウルに少なくとも 1 つ以上の取っ手を備えることを特徴とする請求項 4 記載の皮むき器

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明はニンニクや他の野菜や果物から薄い皮をむくことに適した皮むき器に関する。

【背景技術】

【0002】

ニンニクと様々な種類の果物、野菜の皮をむくために本発明による器具が使用されるが、ここではそのような果物 野菜のすべての総体としてニンニクと表記される。

【0003】

従来ニンニクの皮をむくものとしてゴム又は樹脂状の袋にニンニク片を入れもみしごくことにより皮を取るもの（例えば特許文献 1 参照）

【特許文献 1】 特開 2004-121575

【発明の開示】

【発明が解決しようとする手段】

【0004】

以上に述べた従来の皮むき器では指が疲れ効率が悪いものであった。

【0005】

本発明はこのような従来の構成が有している問題を解決しようとするものであり、皮を効率よくことを目的とする

【課題を解決するための手段】

【0006】

そして本発明は上記目的を達成するために皮むきボウルと切断部、皮なしニンニク片のみを排出する排出口を設け、ニンニク片を皮むき面に衝突させるために振る取っ手を取り付けたものである。

【発明の効果】

【0007】

上述したように本発明の皮むき器は指が疲れることなく効果的にむける皮むき器を提供できる。

【本発明の実施するための最良の形態】

【0008】

以下本発明の実施の形態を図 1～図 7 に基づいて説明する。

【0009】

図において 1 は皮むきボウル、1 a はフタ 1 b は底、1 c は皮むき面でフタ 1 a の裏

10

20

30

40

50

面も同様である。

【0010】

2は切断部で切断刃2aと具材置2bで構成されている。

【0011】

3は排出口で、フィルター3aが取り付けられ、ニンニク皮5cを通さず、皮なしニンニク片5bのみ通す。

【0012】

4は取っ手であり片手でも図7のように両手式でもかまわない。

【0013】

以下上記構成の動作を説明する。具材置2bにニンニク5を置き、切断刃2aで根元と葉を切断し具材置2bを皮むきボウル1に押し込む。取っ手4を持ち図6のように振ることによりニンニク片5aが皮むき面1cに衝突し、跳ね返る際に皮むき面1cとの摩擦により皮がむける、皮むき面1cは凸凹状でも粘着状、その他、形 材質は問わない。皮をむかれた皮なしニンニク片5bはフィルター3aにより皮5cと分離され排出口3より排出される。皮5cが大量に増えた場合、フタ1aを開け取り除く。

10

【0014】

以上の形態によればニンニクの皮むきが効率よく大量にできるものである。

【図面の簡単な説明】

【0015】

【図1】 本発明の実施形態を示す皮むき器の横断面図

20

【図2】 同皮むき器の後方から見た外観図

【図3】 同皮むきのフタを外した図

【図4】 同切断部のA-A線断面図

【図5】 同排出口のB-B線断面図

【図6】 同皮むき器実施図C-C線断面図

【図7】 同取っ手 両手用図

【符号の説明】

【0016】

1 皮むきボウル

1a フタ

30

1b 底

1c 皮むき面

2 切断部

2a 切断刃

2b 具材置

3 排出口

3a フィルター

4 取っ手

5 ニンニク

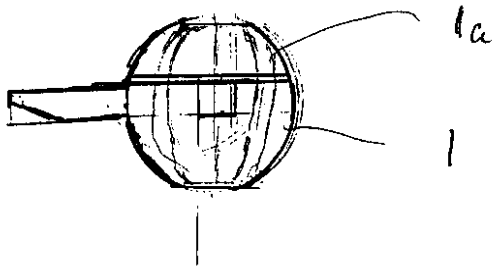
5a ニンニク片

40

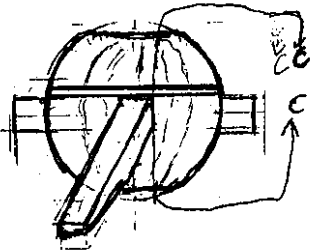
5b 皮なしニンニク片

5c 皮

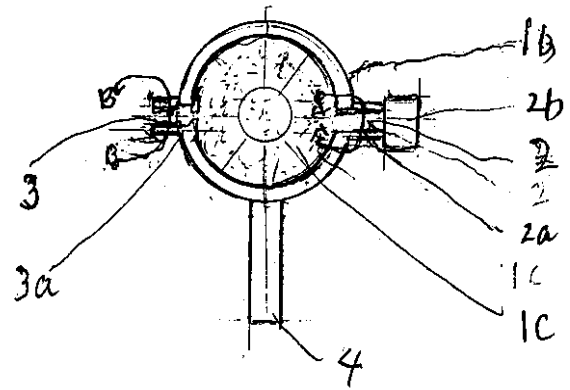
【図 1】



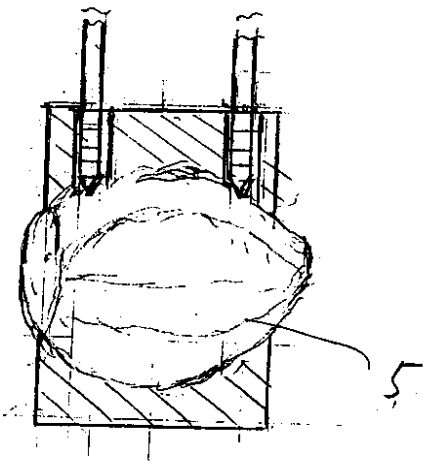
【図 2】



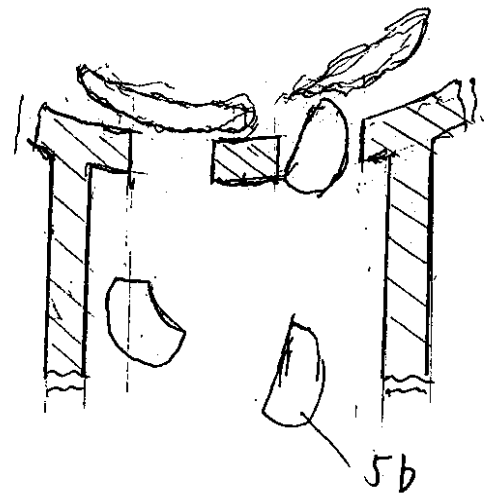
【図 3】



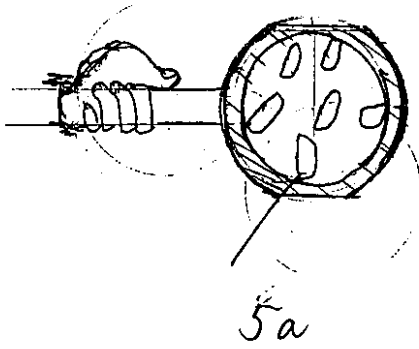
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

